

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2021年7月分)

2021年8月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[新型コロナウイルス感染状況\(1～31日\)](#)

●[スレブレニツァ虐殺26周年追悼式典の開催\(11日\)](#)

●[インツコ上級代表、ボン・パワーを行使しジェノサイドの事実否定禁止などを含むBH刑事法の改正を決定\(23日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

イ. スルプスカ共和国(RS)

●[RS国民議会、インツコ上級代表のボン・パワー行使を受け対抗決議などを採択\(30日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[国連安保理、上級代表のボン・パワー即時廃止などを求める露・中決議案を否決\(22日\)](#)

●[インツコ上級代表の退任\(31日\)](#)

(2) 二国間関係

(3) 日・BH関係

●[伊藤大使とデディッチBH連邦農業・水管理・森林大臣の会談\(13日\)](#)

●[伊藤大使のBHオリンピック選手団壮行会出席\(15日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(BH統計庁)

(2) 経済政策・公共事業

●[BH、国内医療設備の改善に向けIBRDから7,500万米ドルを借り入れの方針\(22日\)](#)

(3) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

(4) 民間セクター

●[米国務省、BHの投資環境に関する報告書を発表\(25日\)](#)

(注:この月報は、当地紙報道などの公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●新型コロナウイルス感染状況(1～31日)

7月の国内新規感染者総数は703人で、前月に続き、一日あたりの回復者数が感染者数を上回る改善状況が続いている。他方で、7日にはBH連邦公衆衛生局が国内初となるデルタ株感染事例を確認した旨発表するなど、世界的に広がりを見せる新型コロナウイルス変異株の感染事例がBHでも複数報告されている。

●スレブレニツァ虐殺26周年追悼式典の開催(11日)

スレブレニツァ市郊外のポトチャリにおいて、スレブレニツァ虐殺26周年追悼式典が開催され、BHからジャフェロビッチ大統領評議会ボシュニャク系メンバー、コムシッチ同クロアチア系メンバー、イゼトベゴビッチBH議会上院議長、トゥルコビッチ副首相兼外相等、主にボシュニャク系要人が参列。またモンテネグロからジュカノビッチ大統領およびアバゾビッチ副首相が参列した他、エルドアン・トルコ大統領を始めとする各国・国際機関の要人が書簡を送付した。

●コムシッチ大統領評議会議長の就任(20日)

コムシッチ大統領評議会議長(クロアチア系)がドディック前議長(セルビア系)に代わり就任。同議長職は、BH憲法に基づき3名による8か月ごとの輪番制となっており、コムシッチ議長の任期は2022年3月19日までとなる。

●インツコ上級代表、ボン・パワーを行使しジェノサイドの事実否定禁止などを含むBH刑事法の改正を決定(23日)

インツコ上級代表はボン・パワー(注:立法・行政権限を含む広範な権限。)を行使し、ジェノサイドの事実否定および戦争犯罪人の礼賛禁止などを含むBH刑事法の改正を決定した。BH国内では、同決定を歓迎するボシュニャク系各党と、これを批判するセルビア系与野党で立場は二分されている。なお、インツコ上級代表によるボン・パワー行使は2012年以来9年ぶり。

(2) エンティティ、特別区

イ. スルプスカ共和国(RS)

●RS国民議会、インツコ上級代表のボン・パワー行使を受け対抗決議などを採択(30日)

RS国民議会は、23日のインツコ上級代表によるボン・パワー行使およびBH刑事法改正をめぐり、RSを一方的に同改正法の適用対象外とする決議、およびジェノサイドと関連付けてRSを公に貶める発言を行った者等に対する刑事罰規定を盛り込んだ改正RS刑事法を可決した。また、同議会は、インツコ上級代表によるボン・パワー行使の問題が解決するまでの間、RS与野党が国政をボイコットする方針を確認した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●テゲルティヤ閣僚評議会議長のEU・西バルカン諸国首脳会合出席(5日)

テゲルティヤ閣僚評議会議長(中央政府の首相)は、ベルリン・プロセスの枠組でドイツが主催したEU・西バルカン諸国首脳会合(ビデオ形式)に出席し、BHのEU加盟実現に向けた取組強化の意向を述べた。他方で、会合を主催したメルケル・ドイツ首相は、選挙法改正

協議などが停滞するBHへの不満感を発言、その上で、8月に就任予定のシュミット新上級代表が状況改善に向けた新たな原動力となることを期待する旨述べた。

●米国・EU要人のBH訪問(3～6日)

パルマー米国務次官補代理およびアイホースト欧州対外行動庁西欧・西バルカン・トルコ・英国担当局長がBHを訪問し、選挙法改正問題をめぐり、大統領評議会3メンバー、イゼトベゴビッチSDA(ボシュニャク系最大与党)党首およびチョービッチHDZ(クロアチア系与党)党首、国政主要野党党首等とそれぞれ会談した。パルマー次官補代理は、本件解決に向け、米・EUが引き続き交渉を後押しする用意がある旨述べた。

●BH政府、EUとの間で安定化・連合協定の履行状況につき協議(13日)

テゲルティヤ閣僚評議会議長、トゥルコビッチ副首相兼外相、グルベシヤ法相はブリュッセルを訪問し、BHの安定化・連合協定の履行状況につきEU側と協議を行った。会合後、テゲルティヤ議長は、BHはEU加盟に向け一定の成果を上げたとして、本年中のEU加盟候補国の地位獲得を期待する旨発言。これに対してボレルEU上級代表は、BHの国内改革の成果は限定的であったと評価、改革前進に向け一層の努力を求める旨述べた。

●BH外相および国防相のNATO本部訪問(14日)

トゥルコビッチ副首相兼外相およびポジッチ国防相はブリュッセルのNATO本部を訪問し、BHの「国防改革計画」などをめぐり大西洋理事会プラスBHの枠組で開催された会合に出

席した。BH両大臣がBHとNATOの協力およびBH情勢につき説明したのに対し、加盟各国代表はBHの欧州大西洋統合を支持する旨述べた。このほか、両大臣はスルテンベルクNATO事務総長とも会談した。

●国連安保理、上級代表のボン・パワー即時廃止などを求める露・中決議案を否決(22日)

国連安保理は、上級代表のボン・パワー即時廃止および今後1年以内のOHR閉鎖を求めてロシアおよび中国が提出した決議案を、賛成2、棄権13で否決した。ドディック大統領評議会セルビア系メンバーは、シュミット新上級代表任命を支持する条件として両国が提出した同決議案が否決されたことを受け、改めて、同代表の任命には正当性がないとする従来の主張を繰り返した。

●インツコ上級代表の退任(31日)

インツコ上級代表が、2009年3月の就任以来約12年間の任期を終え、退任した。後任には、シュミット新上級代表(前ドイツ食糧・農業大臣)が8月1日付で就任した。

(2) 二国間関係

●トゥルコビッチ外相とモートン英外務・開発政務次官の会談(21日)

トゥルコビッチ副首相兼外相は、BHを訪問中のモートン英外務・開発政務次官と会談を行い、貿易・投資分野を始めとするBH・英の二国間協力の強化、およびBHの欧州大西洋統合につき話し合った。

(3) 日・BH関係

●伊藤大使とデディッチBH連邦農業・水

管理・森林大臣の会談(13日)

伊藤駐BH日本大使は、デディッチBH連邦農業・水管理・森林大臣と会談し、農業分野での日本とBH連邦の協力の可能性について話し合った。デディッチ大臣からは、長年に渡る日本の協力に謝意が表明された。



(写真:伊藤大使とデディッチ大臣)

●伊藤大使のBHオリンピック選手団壮行会への出席(15日)

伊藤駐BH日本大使は、オリンピック東京大会開催を前に、BHオリンピック委員会で行われた当国オリンピック選手団の壮行会に出席し、選手たちの健闘を祈るとともに、BH初のメダル獲得への期待を表明した。



(写真:伊藤大使によるスピーチ)

3. 経済

(1)経済指標(BH統計庁)

●GDP成長率

2020年の国内GDP成長率は、前年比で3%のマイナス。

●産業生産指数

2021年6月の産業生産指数は、季節調整後の数値で前月比3.7%のプラス、前年同期比では18%のプラス。

●貿易収支

2021年上半期の輸出総額は、前年同期比31.1%プラスの64億8,900万KM(約33億1,800万ユーロ)、輸入額は前年同期比19.8%プラスの96億1,300万KM(約49億1,500万ユーロ)。輸出額から輸入額を引いた貿易収支は約31億2,400万KM(約16億ユーロ)の赤字。輸出・輸入額の上位5か国は以下のとおり。

BHからの輸出	BHへの輸入
① ドイツ	① ドイツ
② クロアチア	② イタリア
③ イタリア	③ セルビア
④ セルビア	④ クロアチア
⑤ オーストリア	⑤ 中国

●雇用／失業率

2021年5月の失業登録者数は39万5,999人で、前年同期比で1.5%の減少。

●平均給与

2021年5月の平均給与(手取り)は981KM(約502ユーロ)で、前年同期比で4.4%のプラス。

●消費者物価指数

2021年6月の消費者物価指数は前月比0.1%のプラス。

●観光客数

2021年6月にBHを訪れた観光客数は8万8,191人で、前年同期比231.7%のプラス。

(2)経済政策・公共事業

●BH、国内医療設備の改善に向けIBRDから7,500万米ドルを借入れの方針(22日)

閣僚評議会は、国内医療設備の改善などに向け、国際復興開発銀行(IBRD)から7,500万米ドルを借入れとするBH財務省の提案を承認するとともに、IBRDとの協議に向け、BHの交渉チームを組織した。閣僚評議会によれば、借入れが実現すれば、同資金は国内の医療設備および医療財政の改善などに充てられる見通し。

(3)経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

●EU、国境警察とSIPAに警備車両などを供与(30日)

EUは、BHに流入する移民・難民の増加に対応するための国境管理強化支援の一環として、BH国境警察に対して車両47台を、また国家捜査保護庁(SIPA)に対して車両16台を供与した。今回の支援総額は約350万KM(約179万ユーロ)。

(4)民間セクター

●米国務省、BHの投資環境に関する報告書を発表(25日)

米国務省は、米国企業向けに対BH投資に関する報告書を発表。同報告書は、BHの投

資環境の問題点として、汚職、複雑な国内法規制および統治制度、不透明な商手続き、知的財産権保護に対する制度的不備、脆弱な司法制度などに加え、経済改革への国の取組の遅れを指摘。他方で、同報告書はBHの労働コストが安価である点にも触れつつ、今後、同国が好ましい投資先となり得るとする見方も併せて示している。